

1

特集

# 埼玉医科大学と連携協定を締結

## —ポストコロナ時代を見据えて—

 Vol. 27  
 May  
 2021

3月20日（土）、本学と埼玉医科大学は包括連携に関する協定を締結しました。

今後の超高齢化社会における少子高齢化や新型コロナウイルス感染拡大といった社会状況を踏まえ、両校が有する人的・物的資源を有効に活用して保健・医療・福祉および関連する基礎科学・応用科学分野での教育・研究両面での相互補完機能を強化し、ポストコロナ時代を見据えた地域社会の維持・発展に共同で取り組むことが期待されます。

締結式終了後はオンライン（Zoom）によるキックオフシンポジウムを開催。埼玉大学 坂井貴文学長、埼玉医科大学 別所正美学長による開会挨拶の後、埼玉県産業労働部 加藤和男部長より祝辞を頂戴しました。

続いて、本学重原孝臣理事（研究・産学官連携担当）・副学長、埼玉医科大学 森茂久副学長（教育等担当）より両校の概要や特徴、連携の意義など、続いて埼玉医科大学リサーチアドミニストレーションセンター 千本松孝明副センター長からは、研究部門における連携について発表がありました。

講演では埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科 岡秀昭教授より「高齢者のCOVID-19診断と治療、予防の最新情報」、本学大学院理工学研究科 下川航也教授より「DNAと結び目理論」が発表され、最後に、埼玉医科大学 松下祥副学長（研究等担当）より今後に向けた期待が述べられ、閉会となりました。



▲左より埼玉大学 坂井貴文学長、埼玉医科大学 丸木理事長、別所学長



▲埼玉県産業労働部 加藤和男部長



▲埼玉医科大学 森茂久副学長（教育等担当）



▲埼玉医科大学 RAセンター 千本松孝明副センター長



▲埼玉医科大学 松下祥副学長（研究等担当）



▲両校出席者一同



## 2 教育 withコロナ時代の課題に挑め JR東日本大宮支社との連携授業で埼大生が提案発表

3月3日(水)、埼玉大学と東日本旅客鉄道大宮支社(JR東日本大宮支社)の連携により開講している「課題解決型長期インターンシップ」(担当:石阪督規教授)の最終発表会がオンラインで行われました。15名の履修生は4つのグループに分かれ、JR東日本大宮支社から示された

「声かけ・サポート運動の促進」、「分散乗車・オフピーク鉄道利用の促進」といった、withコロナ時代に重要となる2つの課題から各グループ1つを選択し、調査や分析を実施。坂井学長や大西精治JR東日本大宮支社長、大宮支社の社員の方々がお見守り中、提案発表を行いました。



▲学生考案の「分散乗車」ポスター



▲学生考案の「声かけ・サポート」運動ポスター

埼玉大学とJR東日本大宮支社は、2015年8月より埼玉大学周辺および埼玉県を中心としたJR東日本沿線地域の持続的発展と人材育成に寄与する目的で連携協定を締結しており、「課題解決型長期インターンシップ」はその取組の一つとして、2020年度は第3～4タームに実施されました。



▲提案発表の様子

## 3 教育 令和2年度3月期学生表彰を挙行 —優れた学術研究・課外活動の成果を称えて—

3月19日(金)、令和2年度3月期学生表彰式を開催しました。

この表彰は、学術研究等の成果が優れている学生、課外活動の成果が特に顕著である学生、社会活動において優れた評価を受けた学生、その他表彰に値すると認められた学生を表彰する制度です。今回は個人15名および団体2団体に対して坂井学長から表彰状が授与され、学生後援会より記念品が贈呈されました。



▲学生表彰受賞者の皆さん

## 4 教育 350社が自社をPR! オンライン合同企業説明会を開催

埼玉大学総合キャリアセンターSUでは3月1日～5日の5日間、2022年春卒業・修了予定の学生を対象に、学内合同企業説明会を開催しました。

昨年度までは対面での開催でしたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン(Zoomウェビナー)で実施しました。説明会には、埼玉大学産学官連携協議会に加盟する企業のほか、さいたま市リーディングエッジ企業を含む合計347社が参加。6つのトークルームに分かれて開催し、就職活動中の学生延べ2,205名が参加しました。

参加した学生たちは、チャット機能を活用して、自分の描くキャリアの将来像を重ねながら自分に合った企業を見つけようと熱心に質問をしていました。

各企業からは、会社概要、業務内容、採用スケジュールの説明の他、OBOGが参加した企業からは、自己の体験に基づき、学生に寄り添ったアドバイスも行われました。

また、オンライン開催の利点を活かし、録画した説明映像をSUポータル(※学生のみ閲覧可能)内の特設ページで5月末までの3ヶ月間、すべての学生にアーカイブ配信することで、参加できなかった学生や、この4月に入学した学生も閲覧することができるようになりました。



▲初めてオンラインで開催しました



5 地域 **埼玉大学出張展示 in 桶川**  
**「日本の資本主義の父 埼玉県人 渋沢栄一展」を開催しました**

今年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公であり、2024年に紙幣が刷新され新一万円札の顔になることで話題の渋沢栄一は、幕末の埼玉県、現在の深谷市に生まれました。彼はその生涯で多種多様な500以上の企業の設立に携わり、「日本の資本主義の父」と言われています。

埼玉大学では、桶川市および丸善雄松堂と連携し、2月25日(木)から3月8日(月)までの12日間、おげがわメイン3階のOKEGAWA honプラス+イベントスペースにて、本学経済学部 大石直樹准教授(日本経営史)が企画・監修したパネル展を開催しました。

本展示は「渋沢栄一の人的ネットワーク」、「渋沢栄一の経済思想」、「渋沢栄一の果たした役割」の3つのテーマで構成され、渋沢栄一の生涯や思想、功績を一般の方に分かりやすく説明しました。



▲パネル展の様子

6 地域 **音楽分野教員による演奏会「第21回音楽の贈りもの」が**  
**オンラインでお楽しみいただけます**

例年、多くの方々にご来場いただいております、本学教育学部芸術講座音楽分野教員による演奏会「音楽の贈りもの」。第21回を迎えた令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するため、さいたま芸術劇場音楽ホールにおいて無観客で収録した動画を配信しています。

皆様にお楽しみいただけますと幸いです。



**【第1部】 ヨーロッパの名曲を集めて**

ドヴォルザーク作曲「ユーモレスク」、  
 ジョルダニー作曲「いとしい私の恋人よ」、  
 バッハ作曲「アリオーソ」、  
 モノー作曲「愛の讃歌」他



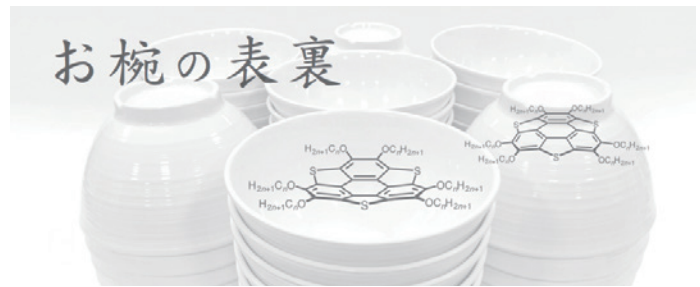
**【第2部】 日本のメロディー**

平井康三郎作曲「平城山」、  
 山田耕稼作曲「赤とんぼ」、  
 矢代秋雄編曲「南部牛追い唄」、  
 矢代秋雄作曲「ピアノ協奏曲」他



7 研究 **記録密度の限界突破を目指して**  
**一次世代高密度メモリの担い手となる「お椀型分子」を開発!**

本学大学院理工学研究科の古川俊助教、斎藤雅一教授、東北大学の呉筭筠氏、芥川智行教授らの研究グループは、非平面型の湾曲した「お椀型共役分子」を開発し、そのボウル反転現象による双極子モーメントのスイッチングを利用した有機強誘電体を作製することに成功しました。従来のメモリ密度の数十倍を可能とする分子メモリ素子の開発に繋がると期待されます。本研究の成果は、学術誌Nature Communicationsに掲載されました。



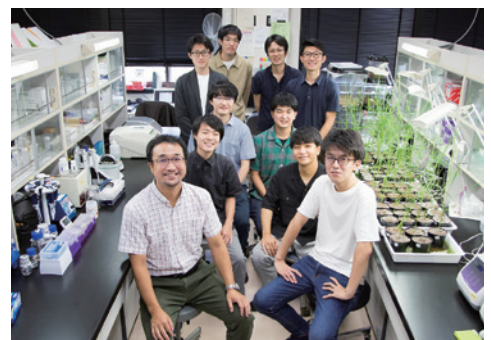
8 その他 **埼大の魅力をお届け!**  
**オンラインマガジン「SAIDAI CONCIERGE」のご案内**

2020年春まで冊子として配布していた広報誌「サイダイコンシェルジュ」が、オンラインマガジン「SAIDAI CONCIERGE」として生まれ変わりました。

本学教員の研究室や研究内容を紹介する「ラボ探訪」を始め、「サークル紹介」、「在学生の活躍」などのコンテンツはそのままに、ちょっとした移動時間や隙間時間に埼大に関するトピックスをお楽しみいただけます。

コンテンツは毎月更新して行きますので、埼大の最新情報を是非お楽しみください。

こちらからご覧ください→



9 学生

## 令和2年度 梶田隆章賞

### 素粒子物理学の研究者を目指す久保飛翔<sup>つばさ</sup>さんが受賞!

令和2年度「梶田隆章賞」は、理学部物理学科の久保飛翔さんが受賞しました。久保さんは谷井義彰教授の研究室にて素粒子物理学を研究し、中でも高度な数学のスキルが求められる素粒子理論と呼ばれる分野を専攻。埼玉大学卒業後は、東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻へ進学し、素粒子物理学の研究者を目指します。

梶田隆章賞の表彰式は、3月25日に挙行された卒業式にて行われ、坂井学長よりクリスタル盾と副賞が授与されました。



▲表彰式にて坂井学長からクリスタル盾を授与される久保飛翔さん



▲「梶田先生の名を冠した賞に恥じぬよう、日々精進しながら常識にとらわれない姿勢で研究に邁進したい」と今後の抱負を話してくれました。



オンラインマガジン「SAIDAI CONCIERGE」では、表彰式直後の久保さんにインタビューを行い、受賞の感想や今後の目標等についてお話を伺いました。是非ご覧ください。

←オンラインマガジン「SAIDAI CONCIERGE」はこちら!

#### 梶田隆章賞とは?

1981年に本学理学部を卒業され、2015年にノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生(東京大学宇宙線研究所所長・教授)の栄誉を称え、梶田隆章先生の寄附をもとに設けられたのが「梶田隆章賞」です。次世代の若手研究者の育成を推進することを目的として、2017年度の創設以来、学業において優秀な成績を収め、高い研究者への志を有する大学院進学予定の卒業生1名を毎年表彰しています。

## 埼玉大学基金室より 埼玉大学基金のご案内

基金のホームページをリニューアルしました!

埼玉大学基金は平成25年11月の設立以来、皆さまからのご理解とあたたかいご支援をいただいております。現在、下図のとおり大学の機能強化、学生支援の充実を目的とするご寄附を幅広く受け入れております。

ご寄附の方法として、金融機関からの振込・払込のほか、指定の月に決済が行われる継続寄附も可能なクレジットカード決済をご用意しております。

また、不要となった本やDVDをお送りいただくことで、その査定額をご寄附いただける古本募金「きしゃぼん」を導入しております。

詳細は下記ホームページをご覧くださいませようございます。今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

**埼玉みらい基金**  
【募集期間】2019年11月～2024年3月

■ **埼玉大学の機能強化を支援**

**教育・研究への支援**

- ・教育プログラムの整備充実等
- ・国際的研究力の向上等

**キャンパス環境整備への支援**

- ・安全・安心・快適なキャンパス整備等

**国際交流事業への支援**

- ・海外留学の促進等
- ・外国人留学生受入促進等

**社会連携事業への支援**

- ・地域・社会との連携充実等
- ・企業との連携強化等

その他基金の目的達成に必要な事業

■ **学生への奨励事業の実施**

特に優秀な学生への給付型奨励金制度の創設

**冠奨学金基金**

寄附者の方の想いに沿った奨学金制度を創設

一定額以上(30万円以上)を寄附した寄附者(法人・個人)が、奨学金名称、奨学金の額及び対象学部等を設定いただけます。

**特定基金**  
埼玉大学修学サポート基金

経済的理由により修学に困難がある学生等の支援

- ・授業料・入学料減免事業
- ・奨学金事業
- ・海外留学支援事業
- ・TA・RA事業

◆ 埼玉大学基金へのご寄附の累計額

**令和3年 3月末の状況**      **564,656,821 円**

**うち古本募金「きしゃぼん」によるご寄附 1,055,906 円**

埼玉大学基金室 (広報渉外室内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp 🌐http://www.saitama-u.ac.jp/funds/

